

令和7年度(2025年度)全国理科教育大会・第96回日本理化学協会総会

岩手大会のご案内

「全ての子供たちの可能性を引き出す理科教育」
一個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けてー

教 育 長 様
高 等 学 校 長 様
特別支援学校長 様
中等教育学校長 様
理科教育関係者 様

日本理化学協会会長 上村 礼子
岩手大会運営委員長 千葉 勝幸

令和7年度全国理科教育大会・第96回日本理化学協会総会を岩手県盛岡市にて開催させていただきます。記録をたどりますと岩手県での開催は平成9年の第68回大会以来、28年ぶりとなります。岩手大会で主会場となるアイーナ(岩手県民情報交流センター)はJR「盛岡駅」西口より徒歩3分に位置しています。盛岡市については、アメリカのThe New York Times(ニューヨーク・タイムズ)が「52 Places to Go in 2023(2023年に行くべき52か所)」を発表し、イギリスの首都ロンドンに続く2番目として話題になりました。

さて、第5期科学技術基本計画に於いて、日本が世界の模範となるようにサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会「Society 5.0」が提案されております。学校教育に於きましてもその実現に向けて、学習指導要領が実施されており、その代表として「総合的な探究の時間」、「理数探究基礎」や「理数探究」等は、「理科教育」で培ってきた「探究」のサイクルを反映していると、受け止めているところです。

岩手大会では「全ての子供たちの可能性を引き出す理科教育一個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けてー」をテーマに研究協議を設定しております。教育のDX化が進む中、今大会ではAI等の活用が理科教育にどのように広がるかを協議する分科会も設けました。互いに議論し、今後の教育の進むべき方向を皆様とともに考え、研鑽を深めることができればと考えております。また、この機会に、マグニチュード9.0を記録した東北地方太平洋沖地震を経験した岩手の地形、平泉中尊寺といった世界遺産、ブラックホールの映像化に寄与した電波望遠鏡を有する観測所、そして宮沢賢治の詩で「鬼の棲みか」と表現された溶岩流の跡地と小岩井農場など岩手の自然や歴史も感じていただければ幸いです。全国の多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

主 催 日本理化学協会 岩手県高等学校教育研究会理科部会
後 援 文部科学省 全国都道府県教育委員会連合会 全国市町村教育委員会連合会
国立研究開発法人科学技術振興機構 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会
(公社)日本理科教育振興協会 日本物理教育学会 (公社)日本化学会
一般社団法人電子情報通信学会 日本生物教育会 日本地学教育学会
全国小学校理科研究協議会 全国中学校理科教育研究会
日本教育公務員弘済会岩手支部(予定を含む)
期 日 令和7年(2025年)8月7日(木)～9日(土)
会 場 アイーナ(いわて県民情報交流センター) 岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7番1号
大会事務局 運営委員長 岩手県立北上翔南高等学校 校長 千葉 勝幸
副委員長 岩手県立西和賀高等学校 校長 高橋 国博
副委員長 盛岡市立高等学校 校長 三田 正巳
副委員長 岩手県立大船渡高等学校 校長 石井 美樹子
副委員長 岩手県立葛巻高等学校 校長 和田 健利
事務局長 岩手県立北上翔南高等学校 教諭 佐藤 浩之

Web サイト <https://nirika-taikai.com/iwate2025/>

岩手大会概要

大会主題

「全ての子供たちの可能性を引き出す理科教育」

一個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて一

大会の趣旨

全国の高等学校等の理科教職員、理科教育関係者が一堂に会し、講演、研究協議、研究発表等を通して、主体的・対話的で深い学びを実現するための魅力ある理科教育の在り方及びよりよい指導方法を探る。

大会日程

*会場は、公共施設のため、開館時刻や会場使用について時間を守るようお願いをされています。
参加者のご協力をお願いします。

1日目 8月7日（木）

11:30	12:00	12:50	13:30	14:30	15:30	16:50
【受付】 常務理事会	常務理事会	大会事前打ち合わせ	全国理事会	文部科学省講話	研究代表者会議 研究協議会 活動報告	
		【13:00 受付】 全国理事会 研究代表者会議 研究協議会				

2日目 8月8日（金）アイーナ開館時刻 8:30 頃

8:45	9:15	10:05	11:00	12:30	13:00	13:45	14:15	16:45
受付	開会式	総会	記念講演	写真撮影	(昼食)	研究協議及 び研究発表 打ち合わせ	研究協議	
								【9:30～16:45】科学の広場

3日目 8月9日（土）アイーナ開館時刻 8:30 頃

8:45	9:00	11:45	12:00	13:30	17:00
受付	研究発表	昼食 移動	【コース別研修（予定）】 Aコース：岩手の地形の体験（1泊2日） Bコース：銀河と世界遺産平泉（半日） Cコース：岩手山と農林畜産業（半日）		
	科学の広場				

文部科学省講話

8月7日（木）14:30～15:30 アイーナ7階 アイーナホール

演 題 「 未定 」
講 師 「 未定 」

記念講演

8月8日（金）11:00～12:30 アイーナ7階 アイーナホール

演 題 「岩手発 ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」
講 師 国立天文台 水沢 VLBI 観測所 所長・教授 本間 希樹 氏



研究協議

8月8日（金）14：15～16：45

テーマ「全ての子供たちの可能性を引き出す理科教育」

第1分科会 物理教育における個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための授業づくり

全ての子供たちの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために物理教育における授業づくりはどうあるべきかを研究協議する。

第2分科会 物理教育における個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための実験・実習の工夫

全ての子供たちの思考力、判断力、表現力を育み、科学的に自然観を育成し、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために物理教育における実験・実習はどうあるべきかを研究協議する。

第3分科会 化学教育における個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための授業づくり

全ての子供たちの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために化学教育における授業づくりはどうあるべきかを研究協議する。

第4分科会 化学教育における個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための実験・実習の工夫

全ての子供たちの思考力、判断力、表現力を育み、科学的に自然観を育成し、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために化学教育における実験・実習はどうあるべきかを研究協議する。

第5分科会 生物教育における個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための授業づくりや実験・実習の工夫

全ての子供たちの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために生物教育における授業づくりや実験・実習はどうあるべきかを研究協議する。

第6分科会 地学教育における個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための授業づくりや実験・実習の工夫

全ての子供たちの可能性を引き出すために、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために地学教育における授業づくりや実験・実習はどうあるべきかを研究協議する。

第7分科会 教育DXにおける理科教育について

教育DXが進む中、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、AI等の活用が理科教育にどのように広がるかを研究協議する。

研究発表

8月9日（土）9：00～11：45

物理分野（3会場） 物理分野① 物理分野② 物理分野③

化学分野（4～5会場） 化学分野① 化学分野② 化学分野③ 化学分野④ 化学分野⑤

生物分野（1会場）

地学分野（1会場）

※発表申込件数、大会参加者数に合わせて会場数を決定します。

科学の広場

8月8日（金）10：00～16：45、8月9日（土）9：00～11：45

8階 805, 806, 807, 808（1部屋5ブース×4部屋＝20ブース）

コース別研修

8月9日（土）12：15～

Aコース 岩手の地形の体験（1泊2日）

Bコース 銀河と世界遺産平泉（半日）

Cコース 岩手山と農林畜産業（半日）

Aコース 岩手の地形の体験コース		定員 20 名（最少催行 18 名） 参加費 32,300 円（1 泊朝食付）
8 月 9 日（土） ～10 日（日）	行程 8/9（土） 12:30 アイーナ→（バス内昼食可）→15:00 久慈琥珀博物館（見学・琥珀採掘体験）16:30→ 17:00 野田村津波堆積露頭 17:40→18:10 久慈グランドホテル（夕食はつきません） 8/10（日） 7:45 ホテル→8:40 三根鉱山 10:00→10:50 道の駅普代 11:00→11:40 津波遺構たろう観光ホテル 学ぶ防災→13:00 道の駅たろう（各自昼食）13:45→15:15 盛岡駅	
2011 年 3 月 11 日、岩手県をはじめとする東北地方は未曾有の自然災害を目の当たりにした。M9.0 を記録した東北地方太平洋沖地震である。海溝型地震は周期的に発生する。これから数十年の間に、東南海地方における連動海溝型巨大地震に伴う津波の発生が想定されている。今後起こるであろう海溝型地震への意識を高めるためには、被災した地を見ることが重要だと考える。震災を語り継ぎ、次なる災害へ備えるために何ができるのか考えるきっかけにしていきたい。 また、岩手県は 4 億年前から近代にかけての化石、鉱物が豊富に産出する。それを実感できるように、久慈地方の琥珀や、北上山地で多産するマンガン鉱床の中でも華美なピンク色のバラ輝石（ロードナイト）を採集する。三陸沿岸は北リアスと南リアスに分けられ、今回は北リアスを巡る。岩手県の地形がおりなす景観と地学教育的資源、東北地方太平洋沖地震からの復興の様子をご自身の目で見ていただきたい。		
 久慈琥珀博物館  震災遺構・田老観光ホテル  野田村津波堆積物露頭		
 琥珀  結晶質なバラ輝石（ロードナイト）		
注意事項 ・初日の昼食は、バスの中でお取りいただきます。 ・両日ともに野外での観察を伴います。野外活動に適した服装（帽子、軍手、長袖等）と靴をご用意ください。なお、二日目の三根鉱山では、小規模な沢を歩きます。参加申込後に長靴のサイズを確認するメールをする予定です。サイズをお聞きして、こちらで購入し用意しておきます（持ち帰るかどうかの判断はお任せします）。 ・三根鉱山へは、道中、レンタカーによる輸送を行う予定です。 ・田老観光ホテルでは、防災ガイドによる 60 分程度の講話を予定しています。 ・天候が荒れる際には観察場所や内容を一部変更することがあり得ます。		

Bコース 銀河と世界遺産コース		定員 20 名（最少催行 18 名） 参加費 9,800 円
8 月 9 日（土）	行程 12:15 アイーナ→13:30 水沢 VLBI 観測所(施設見学) 15:00→ 15:30 中尊寺金色堂(自由拝観・自由見学) 16:45→17:15 一ノ関駅・解散	
日本国内の 4 カ所（岩手県奥州市、鹿児島県薩摩川内市、東京都小笠原村、沖縄県石垣市）に設置した口径 20 メートルの電波望遠鏡の観測データを合成して、日本列島規模の巨大な VLBI 観測網を形成されています。その電波望遠鏡の大きさを体験しましょう。金色堂は 1124 年、奥州藤原氏初代清衡公によって上棟されました。極楽浄土の有様を具体的に表現しようとした清衡公の切実な願いによって、往時の工芸技術が集約された御堂です。今回は、岩手の世界遺産のひとつに触れる機会を提供します。		
		
水沢 VLBI 観測所（HP より）		中尊寺金色堂（HP より）
注意事項 ・昼食はバスの中でお取りいただけます。 ・水沢 VLBI 観測所では、キャンパス内散策（20m望遠鏡、眼視天頂儀室など見学）と木村榮記念館を、所長である本間希樹氏が直々に案内・説明する予定です。その後、各自で奥州宇宙遊学館を見学します。 ・中尊寺金色堂では、金色堂前から自由行動となります。中尊寺見学後、一ノ関駅まで移動し解散致します。		

Cコース 岩手山と農林畜産業コース		定員 20 名（最少催行 18 名） 参加費 10,200 円（小岩井農場入場料込）
8 月 9 日（土）	行程 12:15 アイーナ→13:15 焼走り熔岩流（自由散策）14:15→15:15 小岩井農場（農場内バス 見学・その後自由見学）17:15→18:00 盛岡駅	
歴史に残る岩手山の噴火の中で、1732 年の噴火で大量の溶岩が流れ焼走り熔岩流ができたと言われています。かつて宮沢賢治はここを訪れ、溶岩流の激しい鬼気を、詩「鎔岩流」の中で「鬼の凄みか」と表現しました。今なお残る荒涼とした景観の自然路を歩いて見ませんか。1891 年小野、岩崎、井上、3 人の名字から 1 字ずつ取って作られた小岩井農場には、明治末期から昭和初期にかけての建造物が今もなお、現役で使用されています。その施設を回り、不毛の原野から緑の環境を創造した先達の努力を学習できる機会を提供します。		
		
岩手山と焼走り熔岩流		小岩井農場（HP より）
注意事項 ・昼食はバスの中でお取りいただけます。 ・焼走り熔岩流の観察路（約 1.5km）は、ゴロゴロの溶岩が続いている道で非常に足元が悪いため歩きやすい靴をお勧めします。長い距離歩けない方は、入り口付近及び出口付近での散策のみとなります。 ・小岩井農場ではバスで園内ガイドツアーを行った後、農場内自由散策となります。小岩井農場見学後、盛岡駅まで移動し解散致します。		

大会参加申込要領

- 参加費 大会参加費 8,000円（学生 4,000円）
※上記金額には、資料代【会誌第1号・第2号及び研究発表論文（資料）合併集の実費、会誌第2号の送料】が含まれます。
- 申込締切 令和7年（2025年）6月9日（月）
- 申込方法 下記の岩手大会のWebサイトにて大会要項等を確認し、大会参加申込フォームからお申し込みください。
＜岩手大会Webサイト＞ <https://amarys-jtb.jp/2025nirika/>
※ 大会役員、座長、意見提示者、研究発表者の方々を含め、参加される全ての方は必ず大会参加申込を行ってください。
※ 申込後の連絡は電子メールで行います。申込を行う方と直接連絡の取れるメールアドレスを参加申込時にご入力ください。
※ 座長、意見提示者、研究発表者、科学の広場出展希望者はp.7～8も必ずご確認ください。
※ 大会申込みは5月18日（金）に開始する予定です。
- 大会参加受付等取り扱い業者
【お申込・問い合わせ先】
株式会社JTB 盛岡支店
〒020-0024 岩手県盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル4階
TEL：019-651-7474／FAX：019-623-4425 MAIL：morioka_kyoiku@jtb.com
営業時間：9:30～17:30／定休日：土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

大会全般に関する問い合わせ先（大会事務局）
岩手県立北上翔南高等学校 佐藤 浩之（さとう ひろゆき）
〒024-0051 岩手県北上市相去町高前檀13
TEL：0197-71-2123 MAIL：jimu_iwate@nirika-taikai.com

*研究協議、研究発表、科学の広場等に関する問い合わせは各担当までご連絡ください。

大会参加にあたってのお願い

1 クールビズへのご協力について

8月は、例年大変な猛暑になることが予想されます。冷房温度の適正化を図るため、各自の判断で温度に適した服装での参加をお願いします。岩手大会の運営スタッフについては、ノーネクタイ等での運営をさせていただきますので、ご了承ください。

2 「研究発表論文（資料）集」について

本大会では「研究発表論文（資料）集」を大会当日に配付しません。研究発表論文は大会前に大会Webサイトに掲載します。必要な方は、各自でダウンロードしてご覧ください。なお、研究発表論文には著作権がありますので、無断転用・転載・印刷物の無断配布等は慎むようお願いいたします。

3 「会誌第2号」について

大会の経過、講演、研究協議会の内容を収録するほか、研究発表論文、日本理化学協会の活動状況、理事会・研究代表者会議の議事録をまとめ、参加者全員へ大会参加申込の際に記載頂いた送付先に後日お送りします。なお資料代・送料は大会参加費に含まれており、会誌第1号は大会当日にお渡しします。

また、今大会では研究協議における意見提示者及び研究発表を録画する予定です。意見提示者及び研究発表者の了承が得られれば、Youtube（限定配信）のアドレス・QRコードを会誌第2号に掲載する予定です。

4 研究発表を希望される方及び研究発表座長の方へ

- (1) 研究発表の内容は、理科教育現場の実践・指導などに関するものとします。学術的なものや学校の授業とかけ離れたものはご遠慮ください。
- (2) 研究発表は、より多くの方に積極的に発表していただくために、お一人で複数内容を発表される場合には調整させていただくこともあります。グループ研究での発表についてはこの限りではありません。
- (3) 研究発表の申し込みの期限は**6月9日（月）**です。岩手大会Webサイトの申し込み専用ページから、大会参加の申し込みと合わせてお申し込みください。
- (4) 研究発表論文を作成してください。詳しい執筆要領と提出方法の詳細はp.10をご参照ください。原稿の締め切りは**6月13日（金）**です。
- (5) 発表は研究発表論文の内容に合わせて行ってください。
- (6) 大会事務局で用意する発表用機器は、各会場備付のパソコン（Windows10、Word2019、Excel2019、PowerPoint2019インストール済、インターネット接続可能）、プロジェクター（HDMI端子あり）、HDMIケーブル（パソコン側はHDMIコネクタ（タイプAコネクタ））です。ノートパソコンの持ち込みも可能ですが、大会事務局ではHDMIケーブル「パソコン側はHDMIコネクタ（タイプAコネクタ）」しか用意しませんので、端子の変換アダプターやVGAケーブルなどは各自で準備をお願いします。持ち込みのパソコンを会場のインターネットに接続することはできません。接続を希望の場合は各自でモバイルルータ等を持参してください。持込機器の接続確認は8月9日（土）8:55～9:05に各会場で可能です。なお、VGA端子にてプロジェクターに接続の場合、HDMI端子への変換器をお持ちください。公共施設のプロジェクターを使用しますので、VGA端子からの接続は不可とします。ご協力をお願いします。アイーナ館内は火気使用禁止。
- (7) 研究発表者及び座長の打ち合わせを 8月9日（土）8:55～9:05 に研究発表各会場で行います。持ち込みのパソコンで発表される方は必ずこの時間にパソコンの接続確認をお願いします。
- (8) 発表の様子を録画します。発表者の了承が得られれば、会誌第2号にYoutube（限定配信）のアドレス・QRコードに掲載する予定です。

研究発表に関する問い合わせ先

岩手県立盛岡第一高等学校 澤山 純樹（さわやま なおき）

TEL：019-623-4491 MAIL：kenkyu_iwate@nirika-taikai.com

5 研究協議座長(コーディネーター)、研究協議意見提示者の方へ

- (1) 研究協議の座長(コーディネーター)、研究協議意見提示者(第1～第7分科会)として依頼された方は、日本理化学協会本部(企画運営部)よりメールでご連絡します。派遣依頼等につきましては、大会参加申込の際にご入力いただいたメールアドレス宛にPDFで送付します。期日までに、必ず大会参加申込をお願いします。また、各都道府県事務局にも、ご自身のメールアドレスをお知らせください。
- (2) 研究協議第1～第7分科会の意見提示者は、意見提示要旨を作成し提出してください。詳しい執筆要領と提出方法はp.10をご参照ください。原稿の締め切りは**6月13日(金)**です。
- (3) 本大会の研究協議では各分科会の座長、意見提示者が事前に打ち合わせを行う機会を複数回設けます。各分科会の運営者で予定を合わせ、リモートで実施しますので、ご理解の上ご出席をお願いいたします。今後の予定は、メールにてご案内いたします。
- (4) 意見提示に使用できる機器は研究発表と同様です。持込機器の接続確認は8月8日(金)13:45～14:15 研究協議・研究発表打ち合わせにおいて各会場で可能です。
- (5) 研究協議座長(コーディネーター)及び研究協議意見提示者の打ち合わせを、8月8日(金)13:45～14:15に研究協議各会場で行います。
- (6) 意見提示の様子を録画します。意見提示者の了承が得られれば、会誌第2号にYoutube(限定配信)のアドレス・QRコードを掲載する予定です。

研究協議に関する問い合わせ先

岩手県立盛岡第一高等学校 佐々木 隆浩(ささき たかひろ)

TEL: 019-623-4491 MAIL: kyougi_iwate@nirika-taikai.com

6 科学の広場(ポスターセッション、展示等)について

- (1) 科学の広場は2日間開催します。場所は8階 805、806、807、808(1部屋5ブース×4部屋=20ブース)です。
- (2) 大会第2日: 8月8日(金)10:00～16:45、大会第3日: 8月9日(土)9:00～11:45に開催します。
- (3) ポスターセッションや展示の申込締め切りは**6月13日(月)**です。ポスターセッション・出展を希望される方は科学の広場参加申込書(エクセル形式)を岩手大会のWebサイトからダウンロードし、必要事項を入力して、hiroba_moushikomi_iwate@nirika-taikai.comにメールにてお申し込みください。(入力後のエクセル形式ファイルを添付して送信ください。)
- (4) 科学の広場での営利宣伝(商品説明:教材として後日購入してもらう書籍・実験器具等)および物品の販売は可能です。営利宣伝及び物品の販売を行う際は、出展料として企業:20,000円、各県高教研・個人等:5,000円を当日、お支払いをいただきます。(アイーナ利用規定:入場料を徴収しない営利宣伝その他これに類する目的で使用する場合は、利用料金の3倍に相当する部屋の使用料とする。)
- (5) 各都道府県の研究誌や自作教材の紹介などを、科学の広場にて行うことも歓迎いたします。
- (6) 現在、公開できる情報は以下となります。申し込みの際に、必要な物品がありましたらご相談ください。個別に対応させていただきます。希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。希望団体数によって用意できるスペースが変わりますので、申し込み後に各団体にお伝えする予定です。
 - ・展示用パネル:1枚(H1,850mm×W1,300mm)
 - ・長机:1台(1.8m×0.5m程度)(隣接ブースとの仕切りはありません)
 - ・使用可能電力(60W/ノートパソコン1台程度)・電気使用量を事前に申請してください。
 - ・アイーナ館内は火気使用禁止。

科学の広場に関する問い合わせ先

岩手県立葛巻高等学校 畠山 幸治(はたけやま こうじ)

TEL: 0195-66-2624 MAIL: hiroba_iwate@nirika-taikai.com

7 昼食について

昼食弁当の斡旋を行います。大会申込とあわせて申し込みください。また、会場周辺には飲食店及びコンビニエンスストアがありますのでご利用ください。

8 宿泊の予約について

株式会社JTB 盛岡支店が斡旋を行います。ご希望の方は大会参加申し込み時にJTBのホームページよりお申し込みください。

宿泊予約に関する問い合わせ先

株式会社JTB 盛岡支店

〒020-0024 岩手県盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル4階

TEL : 019-651-7474 / FAX : 019-623-4425 MAIL : morioka_kyoiku@jtb.com

営業時間:9:30~17:30 / 定休日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

9 コース別研修の参加を希望される方へ

8月9日(土)研修終了後、3つのコースを予定しています。参加を希望される方は大会参加申し込みと合わせてお申し込みください。ただし、別途参加費がかかります。各コースの詳細・注意事項をご確認頂いた上で、お申し込みください。昼食は各自ご用意して下さい。

なお、希望人数が少ない場合には中止することがあります。予めご了承ください。中止の場合の返金などの対応につきましては、後日ご連絡いたします。

コース別研修に関する問合せ先

【Aコース】岩手の地形の体験(1泊2日)

岩手県立黒沢尻北等学校 小野寺 弘幸(おのでら ひろゆき)

TEL : 0197-63-2181 MAIL : course_a_iwate@nirika-taikai.com

【Bコース】銀河と世界遺産平泉(半日)

岩手県立一関第一高等学校 佐々木 修(ささき おさむ)

TEL : 0191-23-4312 MAIL : course_b_iwate@nirika-taikai.com

【Cコース】岩手山と農林畜産業(半日)

岩手県立前沢高等学校 渡部 亨(わたなべ とおる)

TEL : 0197-56-2443 MAIL : course_c_iwate@nirika-taikai.com

10 岩手大会関係 Web サイトについて

日本理化学協会 Web サイト <http://www.nirika.jp/>

全国理科教育大会岩手大会 Web サイト <https://nirika-taikai.com/iwate2025/>

※岩手大会 Web サイトには、大会についてのお知らせや連絡が随時掲載されます。申し込み時や大会前にご覧ください。

研究発表論文（資料）集 原稿執筆要領

研究発表を希望される方は、次の要領を参考に論文の執筆をお願いします。また、大会参加申し込みと合わせて研究発表の申し込みをお願いします。なお、事務局での原稿補正はしません。様式を厳守くださいますようお願いいたします。

1 論文集原稿の執筆要領

- (1) 作成にあたって
必ずWebサイトよりテンプレート（Word形式）をダウンロードしてご利用ください。
- (2) 用紙サイズ・ページ数と字数・フォント
用紙はA4サイズ、余白は上下左右18mmとってください。1件の発表につき2ページまたは4ページのいずれかです。1ページは42字×45行です。題目・著者名・所属名・要約文・キーワードまでは1段組みですが、本文からは20字×45行の2段組にしてください。中央は2字分を空白とします。題目・副題以外の文字サイズ・フォントは10ポイント・MS明朝とします。
- (3) 題目・副題
題目は12ポイント・MSゴシックの文字で、1行目の中央に置いてください。副題がない場合、2行目を空けてください。副題がある場合、2行目の中央に10ポイント・MSゴシックで副題を置いてください。
- (4) 所属と著者名
4行目に著者名、5行目に所属を上下揃えて書き、いずれも左右中央に置いてください。所属は〇〇県立〇〇高等学校のように、正式名を記してください。なお、所属と著者名についてはWebサイトに掲載させていただきますので、ご了承願います。
- (5) 要約文
発表の要旨を5行の要約文として書いてください。7行目に【要約】と書いた後に続けて11行目までを使って要約文を書いてください。
- (6) キーワード
発表論文の内容を最もよく表すキーワードを、12行目に【キーワード】と書いた後に続けて10ワード以内で書いてください。
- (7) 本文
14行目から20字×45行の2段組10ポイントで、各ページ左段の次に右段の順序で書いてください。ページ番号はつけないでください。内容構成は基本的には、【1はじめに、2調査方法、3結果、4今後の課題、5文献】の形にし、項目題はMSゴシックで入れてください。
- (8) 画像・図・表・写真
必ずレイアウト上に挿入してください。2段組の中央2文字分の空白部分にかかってもかまいません。写真は白黒で濃淡の鮮明なものを使用してください。研究発表論文は白黒印刷のため、カラー写真は期待どおりの色彩にならない場合があります。なお、写真や図については適切なサイズに縮小してから貼り付け、ファイル全体のサイズが2MBを超えないようにしてください。2MBを超える場合は事前に下記連絡先までご相談ください。

2 提出方法および締切・提出先

- (1) Word形式ファイルおよび、印刷した原稿と同じ体裁になることを確認した PDF形式ファイルを添付してメールにて提出してください。
- (2) メールを送付の際、件名は「研究発表論文原稿」とし、本文に「分野名」「所属」「氏名」を記載してください。原稿を受理しましたら、メールにてその旨を返信しますので、返信がない場合は下記の連絡先までお問い合わせください。
- (3) 研究発表の申し込み締切は6月9日（月）、論文原稿の提出締切は6月13日（金）です。

研究発表論文の原稿送付先および原稿に関する問い合わせ先

岩手県立宮古高等学校 佐々木 彰子（ささき あきこ）

TEL : 0193-63-6426 MAIL : kenkyu_genko_iwate@nirika-taikai.com

研究協議 原稿執筆要領

研究協議において意見提示をされる方は、次の執筆要領を参考にして執筆をお願いします。また、大会参加申込みを忘れずにお願いします。

1 意見提示要旨原稿の執筆要領（第1～第7分科会の意見提示者）

- (1) 作成にあたって
必ずWeb サイトよりテンプレート（Word 形式）をダウンロードしてご利用ください。
- (2) 用紙サイズ・ページ数および字数
用紙サイズはA4 サイズ、余白は上 20mm・下 27mm・左右 19mm とってください。1 ページは 48 字×49 行です。下半分のスペースのみ記載してください。題目・所属・著者名までは1 段組ですが、本文からは 23 字×20 行の 2 段組にしてください。中央は 2 字分を空白とします。
- (3) 題目
11 ポイント・MS ゴシックの文字で 1 行目に「研究協議意見提示要旨」と左詰めで記載後、題目は中央に書きます。
- (4) 所属と著者名
1 行空けた後、所属・著者名を 1 行使って右に置きます。所属は 10 ポイント・MS 明朝で、「〇〇県立〇〇高等学校」のように正式名を、著者名は 10 ポイント・MS ゴシックで書いてください。なお、所属と著者名については、岩手大会 Web サイトに掲載させていただきますので、ご了承願います。
- (5) 本文
次の行から 23 字×20 行の 2 段組 10 ポイントで、各ページ左段の次に右段の順序で書いてください。
「1 はじめに」等の項目題は MS ゴシックで、本文は MS 明朝です。

2 提出方法および締切・提出先

- (1) Word 形式ファイルおよび、印刷した原稿と同じ体裁になることを確認した PDF 形式ファイルを添付してメールにて提出してください。一太郎形式は受け付けません。ご自身で PDF 形式ファイルに変換した上でご提出ください。
- (2) メールを送付の際、件名は「研究協議原稿」とし、本文に「分科会番号」「所属」「氏名」「キーワード」を記載してください。キーワードは優先順位を設けて、3 つお願いします。例えば、「ICT 活用」「1 人 1 台端末」「グループ連携」など。原稿を受理しましたら、メールにてその旨を返信しますので、返信がない場合は下記の連絡先までお問い合わせください。
- (3) 意見提示要旨の提出締切は、6 月 13 日（金）です。

研究協議の原稿送付先および原稿に関する問い合わせ先
岩手県立花巻北高等学校 三浦 美希（みうら みき）
TEL : 0198-23-4135 MAIL : kyougi_genko_iwate@nirika-taikai.com

会場へのアクセス

アイーナ（いわて県民情報交流センター）〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

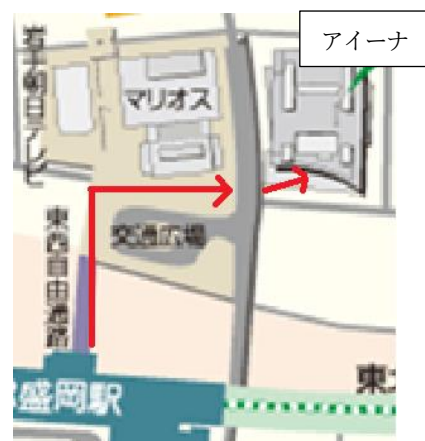
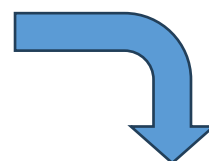
＜アクセスマップ：いわて県民情報交流センター HP より＞



ステキな出会い、いつまでも。



拡大図



<交通等>

- ・東北自動車道盛岡 IC から車で8分
- ・JR・IGR 盛岡駅から徒歩4分

新幹線でお越しの方は、北改札口から出てください。
そのまま直進すると、東西自由通路（さんさこみち）に
到着します。東西自由通路からマリオス前を通して
横断歩道を渡るとアイーナ3階の入り口に到着します。

「日本理化学協会研究紀要第 57 巻」の発行と申し込みについて

研究紀要の内容は、各年度の全国大会における研究発表・研究協議各分科会での発表概要および各支部会誌に発表されたものの中から、論文審査委員会の選考を経て収録されたものです。

研究紀要送付を希望される方は、「個人会員登録および研究紀要申込書」（本紙）に所定の事項を記入のうえ、郵送または FAX にて、日本理化学協会事務局（下記住所・FAX 番号）までお送りください。

代金は後日振替用紙を発送しますので、2000 円（手数料なし）を振り込んでください。

研究紀要の発行は、各年度の 3 月末の予定です。バックナンバーも（第 55・56 巻は 2000 円、それ以前のものは 1000 円で）配付しています。バックナンバーの在庫については電話または FAX にてお問い合わせください。

研究紀要送付先の記入が不明瞭で、返送される場合がありますので、楷書で大きく記入してください。

個人会員登録および研究紀要申込書

令和 7 年 ____ 月 ____ 日

令和 7 年度個人会員登録を希望します。研究紀要を下記宛てにお送りください。

送付希望研究紀要（下の a, b に○をつけてください）

a. 令和 7 年度研究紀要（第 57 巻）（1 冊 2,000 円）

b. バックナンバー（第 ____ 巻, 第 ____ 巻, 第 ____ 巻, 第 ____ 巻, 第 ____ 巻）

※第 55・56 巻は 2,000 円、それ以前のものは 1,000 円です。

■お申し込み者

フリガナ			連絡先電話番号
氏 名			— —
自宅住所	〒 — (建物名・枝番などを省略せずに記入ください)		
勤務先名称			
勤務先住所	〒 — (枝番などを省略せずに記入ください)		

■研究紀要送付先（楷書で大きく記入してください。）

住 所	〒 — (建物名・枝番などを省略せずに記入ください)
	(フリガナ)
	道 都 府 県
フリガナ	
氏 名	

日本理化学協会事務局
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-11-2 巣鴨陽光ハイツ 206
TEL : 03-3944-3290 FAX : 03-3944-3295